

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名 ソフトピアジャパンセンター修繕工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業デジタル推進課 IT扱 電話番号：058-272-1111(内2991)

E-mail：c11356@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 174,040 千円 (前年度予算額： 288,120 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	288,120	0	0	0	0	0	0	248,900	39,220
要求額	174,040	0	0	0	0	0	0	0	174,040
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ソフトピアジャパンセンタービルは竣工より27年、ドリーム・コアは23年、ワークショップ24は21年、アネックスは25年経過しており、経年劣化等に伴う設備の更新及び修繕が必要となっている。平成18年度よりセンタービル及びドリーム・コアで、平成25年度よりワークショップ24で指定管理制度を導入している。

(2) 事業内容

①センタービル、ドリームコア、ワークショップ24及びアネックス修繕工事にかかる経費

- ・ソフトピアジャパン・センタービル ソピアホール搬入用エレベーター更新
- ・ソフトピアジャパン・センタービル照明器具 (一般照明等) 更新
- ・ソフトピアジャパン・ワークショップ24 高圧開閉器 (VCB) 更新

②アネックス修繕工事にかかる経費

③ソフトピアジャパン・センタービル設備改修にかかる委託費

- ・ソフトピアジャパン・センタービル空気調和機 (エアハンドリングユニット等) 基本設計
- ・ソフトピアジャパン・センタービル冷却塔改修工事実施設計
- ・ソフトピアジャパン・センタービル熱源設備 (水冷スクリーチャー) 実施設計
- ・ソフトピアジャパン・センタービル屋上機械室防水改修実施設計
- ・ソフトピアジャパン・ワークショップ24 ビルマルチ空調更新実施設計
- ・岐阜県県有建物長寿命化計画 (4施設分) 更新

(3) 県負担・補助率の考え方

センタービル、ドリーム・コア及びワークショップ24の施設修繕については、ソフトピアジャパンセンター及び県営住宅ソピア・フラッツ指定管理者（以下、ソフトピア指定管理者）と締結している管理運営協定により費用負担区分を規定。

アネックスは、大垣市情報工房との合築施設であるため、県・大垣市・ソフトピア指定管理者・大垣市情報工房指定管理者の4者にて協定を締結し、施設修繕にかかる修繕区分を規定（但し、県専有部はセンタービル等と同様の扱い）。

①センタービル、ドリーム・コア、ワークショップ24部分

- ・ 1件につき60万円未満の修繕：ソフトピア指定管理者が負担
- ・ 1件につき60万円以上の修繕：岐阜県が負担

②アネックス部分

- ・ 1件につき60万円未満の修繕：ソフトピア指定管理者と大垣市情報工房指定管理者で案分して負担
- ・ 1件につき60万円以上の修繕：岐阜県と大垣市で案分して負担。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	65,234	CB 空気調和機（エアハンドリングユニット等）基本設計 39,000
		CB 冷却塔改修工事実施設計 6,000
		CB 熱源設備（水冷スクリーチャー）実施設計 5,000
		CB 屋上機械室防水改修実施設計 1,045
		WS24 ビルマルチ空調更新実施設計 12,000
		県有建物長寿命化計画（4施設分）更新【長寿命化外】 2,189
工事請負費	105,928	CB ソピアホール搬入用エレベーター更新 60,000
		CB 照明器具更新（一般照明等） 42,276
		WS24 高圧開閉器（VCB）更新 3,652
負担金	2,878	ソフトピアジャパン・アネックス修繕工事負担金【長寿命化外】
合計	174,040	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画

Ⅲ 各分野のDX

10 産業・労働

Ⅲ 各分野のDX

- (1) デジタル化の段階に応じた支援によるデジタル技術活用の裾野拡大
- (3) デジタル産業の強化・誘致

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

経年劣化等に伴う設備の更新及び修繕が年々増加している中、法令遵守、安全確保、不具合時の利用者影響度などから優先順位を付け設備の更新や修繕を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H17)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	
					達成率	
①ソフトピア ジャパンセン ター入居施設入 居率	CB. AN. DC 62.7% (H17) WS24 54.1% (H25)	82.30%	80.00%	80%	80%	103%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和 3 年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	入居者及び利用者に不利益を与えないよう、不断の施設維持が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	必要最低限の修繕により施設の維持管理を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	中長期保全計画を作成し、また、指定管理者と連携を密にとり、優先順位の高く必要な修繕を実施し、経費の節減を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 中長期保全計画で策定した修繕は、大規模な修繕を中心に先送りされ、機能維持が難しい設備も出てきており、待ったなしの段階である。施設運用面での課題や大規模設備の状況把握を行い、計画的に施設運営や修繕を実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設の利用率や不具合の影響度などから優先順位を決め、順に維持する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】